

項目	確認事項	届出内容
基本情報	大学等名1(代表大学等)	東京工科大学
	大学等名1(代表大学等)※カナ	トウキョウコウカダイガク
	大学等名1(代表大学等)学校所在地	東京都
	大学等名1(代表大学等)学校種別	私立大学
	大学等名2(連携大学等)	
	大学等名2(連携大学等)学校所在地	
	大学等名2(連携大学等)学校種別	
	科目名	インターンシップ1・インターンシップ2
	学部・研究科等名	応用生物学部、コンピュータサイエンス学部、メディア学部、工学部
	担当教職員名・役職	応用生物学部就職委員長 教授 柴田 雅史コンピュータサイエンス学部就職委員長 教授 松下 宗一郎メディア学部就職委員長 教授 進藤 美希工学部就職委員長 教授 戸井 朗人
受講者数(H29年度実績)※インターンシップ参加者数	50	
受入企業等数	44	
受入企業等名	NECレノボジャパングループ、NTTデータ先端技術(株)、アイエンター(株)、旭ボーリング(株)、エキサイト(株)、(株)Hew One's Way、(株)アズテックス、(株)エム・オー・シー、(株)エムアップ、(株)極東電機、(株)ジャストシステム、(株)スパイスワークス、(株)デイズ、(株)テクノ、(株)デルクイ、(株)トイル&モイル、(株)トレストレース、(株)南国ソフト、(株)日立ハイテクソリューションズ、(株)ヒューネル、(株)三越・伊勢丹システム・ソリューションズ、(株)ミライズモバイル、(株)メガスポーツ、(株)ヤオコー、(株)リブセンス、(株)レオパレス21、(株)榮太樓、(株)ジークス、(株)共同システム開発、(株)グリー、(株)システック、(株)スーパースポーツゼビオ、セコムトラストシステムズ(株)、テデマーチ(株)、東邦ホールディングス(株)、日本電産(株)、日立オートモティブシステムズ(株)、フェイス(株)、富士ゼロックス(株)、利多加土砂砕石販売商事(株)、新光電気工業(株)、B.M.Company(株)、BIJIN & Co. (株)、(NPO) Mission ARM Japan	
インターンシップの分類	1.長期(概ね1か月以上)インターンシップ 2.有給インターンシップ 5.他県をまたぐ広域インターンシップ 6.低学年(大学1年次~2年次程度)からのインターンシップ 8.大企業・グローバル企業でのインターンシップ 9.中小企業でのインターンシップ	
上記以外のインターンシップの分類(記述欄)		
要素①	1-1.当該インターンシップは、就業体験を伴うものになっていますか。	1.はい
	1-2.該当する就業体験	1.企業等における業務への従事
	1-2.で「3.その他」の就業体験の内容(記述欄)	
1-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	工業系の大学の特性を生かすために、学修内容に関連した業種で就業体験をすることを理想とするが、就業力向上のため広く活動先を募集している。	
要素②	2-1.当該インターンシップを正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、インターンシップの実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。	1.はい
	2-2.該当するインターンシップの内容	1.当該インターンシップは、教養教育科目として実施している 6.当該インターンシップは、選択科目として実施している 7.当該インターンシップは、授業期間中に実施している 8.当該インターンシップは、休業期間中に実施している
	2-2.「9.その他」で実施しているインターンシップの内容(記述欄)	
	2-3.当該インターンシップを実施する年次(記述欄)	2年次~4年次
	2-4.当該インターンシップで付与される単位数(記述欄)	1単位
	2-5.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	3年次の科目として設定されているが2年次、4年次でも取得可能としている。前後期各1単位で合計2単位まで取得可能である。
3-1.インターンシップの実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、インターンシップの教育的効果が発揮されるようインターンシップ期間中に適切なモニタリングを実施していますか。	1.はい	
	3-2-1.該当する事前学習の内容	1.学生に対して、社会人としてのマナーや守秘義務の遵守、パソコンの使用方法等を身に付ける授業等を行っている 2.学生が受入企業の事業内容等に関する事前の調査・研究を行っている 4.学生に対して、正規の教育課程としてのインターンシップの実施目的や期待する教育的効果の理解を促している
	3-2-1.「5.その他」で実施している事前学習の内容(記述欄)	

要素③	3-2-2.該当する事後学習の内容	1.日報やレポート等を用いて、現場での体験の振り返りを行っている 3.振り返りを実施し、成果目標等の達成について確認を行っている
	3-2-2.「4.その他」で実施している事後学習の内容(記述欄)	
	3-2-3.該当するモニタリング	3.その他
	3-2-3.「3.その他」で実施しているモニタリングの内容(記述欄)	必要に応じてキャリアサポートセンター職員が企業に連絡を取り確認している
	3-3-1.事前学習の内容に関する詳細(記述欄)	キャリア教育の一環で全員にインターンシップの意義を説明し、マナー教育や守秘義務の遵守、実施目的等を理解させている。
	3-3-2.事後学習の内容に関する詳細(記述欄)	日誌や感想を書かせ、レポートとして提出させている。全体授業で振り返りを行っている。
	3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細(記述欄)	一部の企業(1ヶ月間以上活動している)について、キャリアサポートセンター職員が連絡を取り確認している。
要素④	4-1.インターンシップの教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。	1.はい
	4-2.該当する教育的効果を測定する仕組み	4.その他
	4-2.「4.その他」で実施している教育的効果を測定する仕組み(記述欄)	全国規模の言語・非言語・一般常識テストを年に複数回、学生に模擬試験を受験させ全国順位や偏差値、分野ごとの得点率などを教員とキャリアサポートセンターが成績の推移を共有している。
4-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	模擬試験を受講させることによって全国順位、学内順位、分野ごとの得点率、偏差値などを客観的に数値をもってインターンシップに参加する前後で学生の就業に対する意識の変化、および成績の推移を観測することでインターンシップの教育効果などを測定している。	
要素⑤	5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のインターンシップの実施期間を確保していますか。	1.はい
	5-2.該当する実施期間	1.連続した5日間以上の実施期間を確保している 4.その他
	5-2.で「1.連続した5日間以上」を選択した場合(記述欄)	5日間
	5-2.で「2.事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
	5-2.で「3.複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
	5-2.「4.その他」の実施期間の内容(記述欄)	連続していなくても、同一企業で土日等に合計5日間以上活動できれば認めている。
5-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	連続していなくても、同一企業で土日等に合計5日間以上活動できれば認めている。	
要素⑥	6-1.大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。	1.はい
	6-2.該当する大学等と企業の協働取組の内容	3.企業担当者が学生に対して適切に関与し、目標達成に導くなど、大学として必要な支援を行っている 4.受入企業等も、インターンシップ中の学生に対する評価を実施している
	6-2.「7.その他」で実施している大学等と企業の協働取組の内容(記述欄)	
	6-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	企業の負担軽減のため、大学が窓口となり、履歴書を取りまとめ送付したり、企業からの連絡事項を集約し、学生に伝達している。また、インターンシップ受け入れに伴い、大学において、日誌や評価報告書等のフォーマットを作成し、企業に提供している。
	7.上記①～⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL	<a href="http://www.teu.ac.jp/gakubu/syllabus/index.html">http://www.teu.ac.jp/gakubu/syllabus/index.html</a>
問い合わせ先	大学等名	東京工科大学
	担当部署名	キャリアサポートセンター
	担当者役職名	
	担当者氏名	内田 伸
	電話番号	042-637-2117
	メールアドレス	jm-hcqjin@stf.teu.ac.jp